

平成28年3月期 決算の概要

当期の日本市場においては、公共工事は減少傾向にあるものの、震災復興工事や景気の緩やかな回復を背景に民間工事は堅調に推移し、更新目的による新車購入が進んだ結果、クローラクレーン新車需要は当社推定で対前年同期比10%の増加となりました。

また海外では、先進国市場においては北米の経済の回復が続き、西欧は英国を始めとして景気が緩やかに回復したことで、需要は微増となりました。一方、新興国市場におきましては、中国経済減速が同国やアジア地域への波及が一段と鮮明になり需要は減少しました。その結果、海外需要全体としても当社推定で対前年同期比5%の減少となりました。

こうした市場環境に加えて、物価上昇に伴い資材費上昇が進んだものの、当社は原価低減や固定費抑制など各種体質強化策に取り組んだ結果、当期の業績は以下の通りとなりました。

【平成28年3月期の経営成績（連結）】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当期	44,217	3.1	5,246	Δ9.0	5,353	Δ7.8	3,995	38.0
前期	42,876	14.9	5,764	82.3	5,803	83.0	2,895	40.5

国内事業については、新車需要の増加によって販売台数が増加し、またサービス事業の拡充にも努めた結果、当期の国内売上高は28,257百万円（前期比15%増）となりました。

海外事業については、米州ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V.、中東地域では、Hitachi Construction Machinery Middle East Corp. FZEなど各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援、サービス支援や新興国市場の開拓などに努めましたが、需要の減少により当期の海外売上高は15,960百万円（前期比13%減）となりました。

次期の見通しとしましては、日本・北米を中心に先進国経済は緩やかな成長に陰りが見え始めており、新興国経済もさらに減速すると予測されます。このような中、クローラクレーンの世界需要につきましては、各種資源安や各地区の地政学的リスクも相俟って、対前年比で減少すると予測しております。

上記の通り、市場環境は一段と不透明な状況にありますが、当社は以下の重点方針を推進することで、引き続き競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減の推進
- 2) 市場要求に合った新機種開発の推進と開発力の強化
- 3) 関係会社及び代理店との連携強化による顧客満足度のさらなる向上
- 4) 固定費比率の低減
- 5) キャッシュフローの改善
- 6) 内部統制を重視した企業体質の強化

(お問い合わせ先)

日立住友重機械建機クレーン株式会社
経営企画部

Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379

〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号

URL/ <http://www.hsc-crane.com>